

モデルフォレスト運動とは？

モデルフォレスト運動とは、平成4年の地球サミットにおいてカナダ政府が提唱した、**多様な主体が参画して行う持続可能な森林管理の実践**のことです。

この取り組みは、世界30か国60地域以上に広がっています。



なぜ、京都にモデルフォレスト？

京都府の森林は、府域の約4分の3（34万ha）を占め、これらの森林は、地球温暖化の防止や災害防止、景観の保全など、私たちの生活に欠かせない多くの役割を持つ貴重な財産です。

しかし、社会経済の変化の影響で、森林の放置や荒廃が進み、森林所有者や林業だけで十分に守ることが難しくなってきました。

そこで、地域住民、企業、ボランティア、学校等が力を合わせて森林を守り育む「京都モデルフォレスト運動」が、平成18年に始まりました。

公益社団法人 京都モデルフォレスト協会とは？

府民・企業・団体・地域が協力して活動ができる仕組みづくりを進めています。
主な取り組みは次のとおりです。



森をきっかけに
人・地域・企業などをつなぐ役割



森林づくり基金や緑の募金で
森林整備や地域の緑化を支援



子どもの
環境教育・体験学習を実施



森林・林業、森と人との
つながりを学ぶ府民公開講座の開催



森林整備による
二酸化炭素吸収量を認定



森林や自然に関する
専門家の紹介



▼ 森林づくりに関心をお持ちの方はお問い合わせください ▼

お問い合わせ先



公益社団法人
京都モデルフォレスト協会

〒604-8424 京都市中京区
西ノ京樋ノ口町123京都府林業会館3階
電話・FAX 075-823-0170



みんなで守り育てよう、京都の森林

京都モデルフォレスト運動



京都モデルフォレスト運動の 主な活動内容

企業参加による森林づくり

府内各地で企業や団体が地域住民と連携し、間伐や下草刈り、植樹などの森林整備や、森林の大切さを学ぶ学習などに取り組んでいます。

学習



次世代の育成



環境学習や森林体験イベントを通じて、森林や緑の大切さを学ぶ機会を提供することで、未来へと森林を守り継ぐ次世代の育成に取り組んでいます。



下草刈り



植樹



地域住民による森林づくり



手入れ不足となっている里山林や竹林などにおいて、地域住民やボランティア団体などが主体となって、倒木整備や下草刈り、竹の伐採などの森林保全活動に取り組んでいます。

地域の方だけでは難しい
専門的な作業を支援する制度もあります



わたしたちに できることは



- ✓ 森林に興味を持ち、
森林の大切さを学ぶ



- ✓ 身近な森林で生産された木材を使う
森林資源の循環が生まれます。



- ✓ 緑の募金に協力する

緑の募金は、府内各地の森林・緑づくり、
環境学習などに活用されています。



- ✓ 植樹・森林づくり・
ボランティア活動等に参加してみる

企業の社員やその家族が森林づくり活動に
参加しています。

